

## 番組審議会（第38回）議事録

1. 開催年月日 平成26年9月18日（木）19:00～20:00

2. 開催場所 株式会社 エフエムなよろ（名寄市西4条南9丁目）

3. 出席委員 委員総数7名 出席委員数7名（委任状を含む）

出席委員 今野道裕、西 守、向井豊文、西川准司、  
山内美智恵、斎藤弘美

放送事業者側出席者 代表取締役 藤田健慈、 局長 伊藤美和子

### 4. 議題および審議内容

(1) 議題 8/5（火）と8/24（日）の大雨災害時の放送について

・放送事業者より当日の放送について報告

・8/5 1:36 名寄市に洪水警報発令

4:16 市内豊栄川避難判断水位を超過

5:20頃 伊藤局長 徳田～豊栄遊水地確認後出社  
消防、市役所に電話

6:15 三宅 出社 二人で情報収集

7:30～10:00 「おはようてっし」生放送  
三宅がスタジオから放送

伊藤は中継（旭ヶ丘しらかば団地、JR名寄駅、  
豊栄川遊水地）

旭川地方气象台とも電話中継を入れる

8時過ぎ全員出社

9:30 市役所に対策本部設置～1名市役所へ行き情  
報を局へ伝える。

2名市内に出かけ、情報収集、局へ伝える。

局では1名が割込み放送の対応。情報がまと  
まり次第随時放送と facebook への掲載を続け  
る。

10:00以降割込み放送や、12:00～14:00  
の「お昼の公園通り」、16:00～18:15「てっし  
ジャーナル」でも随時情報を伝えた。

22:00放送体制終了。それまでに順次職員を退社さ  
せ、22時には全員退社。

局内の反省として、「緊急時の任務分担の明確化」「危険な場所に行く際の注意」「緊急時はボランティアさんは休んでもらい、局員で対応する」「天候が回復しても、河川水位は予断を許さないので、もっと割込み放送を行うべき」という点が出された。

- ・ 8 / 24 15:00まで風連道の駅スタジオから「ミチエキコンサート生中継」(伊藤、橋本)
  - 15:30頃局に戻る。同じ頃大雨を心配し河井出社
  - 15:53名寄市に大雨(浸水害)、洪水警報発令
  - この頃から割込み放送を開始。(この後随時放送)
  - 17時頃までに全社員出社。
    - 三宅、市役所対策本部に詰める。1名市内に出かけ、情報収集、局へ伝える。局では1名が割込み放送の対応。情報がまとまり次第随時放送とfacebookへの掲載を続ける。
  - 17:07名寄市から「自主避難(徳田)メール」
  - 17:18市内豊栄川避難判断水位を超過
  - 17:45名寄市から「自主避難(智南)メール」
  - 17:54名寄市から「避難勧告(八幡)メール」
  - 19:00過ぎ 橋本、三宅と交代(三宅翌朝のため帰宅)。
  - 20:40名寄市の大雨(浸水害)警報解除
  - 21:00名寄市から「避難解除(八幡)メール」
  - 21:05名寄市から「避難解除(徳田)メール」
  - 23:00放送体制終了。それまでに順次職員を退社させ、23時には全員退社。

局内の反省として、「ラジオをつけた瞬間に緊急放送をしていなければチャンネルを変えられてしまう。いつ聞いても緊急放送中が分かるようにする」「情報を整理し、慌てずゆっくりと伝える事」「ラジオは音声だけが頼りなので、分かりやすい言葉で伝える事(例:「小河川」を「消火栓」と捉えてしまう)」

- (委員より)・緊急時の放送は、聞くタイミングで役に立つ時と、そうでない時がある。
- ・ 8月は2回も大雨に見舞われたが、人命に被害がなくホッとした。「川に近付かない」など大切な事は伝えられたのではないかと。
  - ・ 8/5は午後から天候が回復したとはいえ、河川は危険な状態だった。

朝同様の放送を続けるべきだった。

・ 8/25は前回の教訓もあり、細かく伝えられていたと思う。

・ facebook やツイッターでの情報発信も状況が分かりやすく良かった。

(放送事業者) ・いただいた意見に基づき、改善に向け努力する。

#### 5. 審議会の答申または意見の概要の公表

公表の内容 本議事録

公表の方法 事務所への据え置き、ホームページへの掲載、自社放送

公表の年月日 平成26年9月19日

#### 6. その他の参考事項

なし